

Compass

予備懇談①について

特活や総合の時間を使って、予備懇談①を行っています。予備懇談①は、第2回進路希望調査の志望校を元に、担任の先生とみなさん一人ひとりで行う二者懇談です。いよいよ私立高校の受験校を現実的に考えていかななくてはけません。

私立受験校決定時期は12月の個人懇談なので、決定まで約2か月半です。予備懇談①で担任の先生から伝えることをしっかり受け止めて、自分の進路について真剣に考えましょう。

次の中間テストや実力テストに向けてのアドバイスもあるかもしれません。目標に向かって、勉強も頑張ってください。今回は二者懇談ですが、保護者の方にも懇談の内容を必ず伝えてください。

高校合格を目指すだけでなく、その高校で3年間頑張れるのか、勉強についていけるのか、高校でどんな力を身に着きたいのか、将来の目標につながるのか等、入学後や高校卒業後も見据えて進路選択をしましょう。高校合格はゴールではなくスタートです。

入学してから「こんなはずではなかった・・・」となってほしくありません。「学校の数だけ教育がある」と言われるくらい、各校が豊かな個性や特色を競い合っています。ぜひその中から自分が頑張れる高校を選んでいきましょう。保護者の方ともきちんと相談をしてください。

高校の『単位』って何？

「高校では単位を落とすと進級や卒業ができない」といった話を聞いたことありませんか？義務教育の中学校と違い、高校は卒業するために単位を取得する必要があります。

そもそも単位とは、学習した量と成績を表します。高校ではある1科目で35時間の授業（週に1時間を1年間）の「3分の2」または、「4分の3」以上受けて、定期テストで一定の基準（赤点）を超えている場合に1単位となります。

数学や英語などの1週間に4時間も授業がある場合は、1年間の授業数の「3分の2」または「4分の3」以上を受けて、テストで基準の点数（赤点）を超えれば4単位になります。

また、高校ではある一定の単位を落としてしまうと留年になる（進級できない）という仕組みがあります。そして、無事に進級して3年間に取った単位の合計が74単位以上になると卒業す

ることができます。ほとんどの高校では6時間が1週間に5日あるので(6×5=30)1年間に30単位、3年間で合計90単位を取れることになります。

テストで基準点未滿となり欠点をとった場合、即留年ではなく、ほとんどの高校では追試験や補習、追加課題などでもう一度チャンスを得ることが多いです。ただ、この追試験や補習が度重なって高校生活がしんどくなり、不登校や退学につながるケースもあります。高校を選ぶときに学力面でも合っているのかが大切になります。

スキマ時間がスマホ時間になっている

スマホやPC等が手元にあると、ついSNSで友達に連絡をしたり、インスタやユーチューブを見続けたり、ゲームをしてしまったり、目的外の事に使いがちです。

「うっかりダラダラ使ってしまった！」という経験があるのではないのでしょうか？私もこのうっか

りは何度もあります。何かを調べたときに関連記事が次々として出てきて、気づかぬうちにダラダラ見てしまった・・・と後悔します。スマホ等を「意味調べに使うから」、「リスニングを聞くから」など、勉強に活用できる便利な面もあると思います。

しかし、スマホ等が近くにあることで誘惑に負けてしまい、時間を浪費している人も多いと思います。スマホ等には楽しいコンテンツが沢山つまっています。上のイラストにあるように、勉強の妨げとなるものを目の前に沢山置いているのと同じことなのです。楽しいコンテンツの魔力に飲み込まれて、不毛な時間を過ごしてしまうことになりがちです。勉強中はできればスマホやPC等は音を切って手の届かない所に置いたり、別の部屋に置くなどして、身の回りから遠ざけましょう。自分では難しいという人は、時間が来たら保護者に預けるなどの協力をしてもらうのも一つの方法です。勉強に集中できる環境を整えることも大切です。

